平成 25 年 7 月 31 日

各　位

会 社 名　古 河 ス カ イ 株 式 会 社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　岡 田　満
（コード番号 5741 東証1部）
問合せ先　広 報・ＩＲ 室 長　澤 地　隆
（TEL　03-5295-3800）

会 社 名　住 友 軽 金 属 工 業 株 式 会 社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　山 内　重 徳
（コード番号 5738 東証1部）
問合せ先　経 理 部 長　坂 上　淳
（TEL　03-3436-9771）

古河スカイ株式会社と株式会社住軽テクノの吸収分割契約締結に関するお知らせ

古河スカイ株式会社（以下「古河スカイ」という。）と、住友軽金属工業株式会社（以下「住友軽金属」という。）の 100%子会社である株式会社住軽テクノ（以下「住軽テクノ」という。）は、両社にて開催された取締役会の決議に基づき、本日、平成 25 年 10 月 1 日（予定）を効力発生日として、古河スカイが押出事業に関して有する権利義務を住軽テクノに承継させる吸収分割（以下「本吸収分割」という。）に係る契約（以下「本吸収分割契約」という。）を締結しましたので、以下の通りお知らせいたします。なお、住友軽金属においても、本日に開催された取締役会において、本吸収分割を承認しております。

本吸収分割は、古河スカイ及び古河スカイ小山押出株式会社の間の平成 25 年 7 月 31 日付吸収分割契約書に基づく吸収分割の効力発生を条件としております。なお、本吸収分割は、公正取引委員会に対する本吸収分割に関する計画の届出に係る手続の完了後に行う予定です。

また、吸収分割承継会社である住軽テクノは、古河スカイと住友軽金属の間の平成 25 年 4 月 26 日付合併契約に基づく平成 25 年 10 月 1 日（予定）を効力発生日とする吸収合併（以下「本吸収合併」という。）による経営統合に伴い、平成 25 年 10 月 1 日に商号を「株式会社ＵＡＣＪ押出加工」に変更する予定です。

１．本吸収分割の目的等

（１）分割の目的

古河スカイと住友軽金属は、平成 25 年 10 月 1 日（予定）の経営統合後の経営体制として、事業単位で収益管理責任を明確にする「事業分社制」を採用することといたしました。これに先立ち、各事業単位において再編成を実施して新体制への円滑な移行に備えることが必要となりました。今回の古河スカイの押出事業の住軽テクノへの吸収分割も、その再編成の一環となるものであります。

（２）押出事業における組織再編成の概要

吸収分割会社である古河スカイは、本吸収合併による住友軽金属との経営統合に向けて、平成 25 年 10 月 1 日（予定）を効力発生日として、押出事業において以下の組織再編成を行う予定です。

【押出事業】

○ 古河スカイと古河スカイ小山押出株式会社の間の平成 25 年 7 月 31 日付の吸収分割契約に基づく吸収分割

○ 古河スカイと住軽テクノの間の平成 25 年 7 月 31 日付の吸収分割契約に基づく吸収分割
（本吸収分割）

２．本吸収分割の要旨

（１）本吸収分割の日程

取締役会決議日（住軽テクノ）	平成 25 年 7 月 30 日
取締役会決議日 （古河スカイ、住友軽金属）	平成 25 年 7 月 31 日
本吸収分割契約締結日 （古河スカイ、住軽テクノ）	平成 25 年 7 月 31 日
株主総会開催日（住軽テクノ）	平成 25 年 9 月中旬（予定）
本吸収分割の効力発生日	平成 25 年 10 月 1 日（予定）

（注１）本吸収分割は、古河スカイにおいて会社法第 784 条第 3 項に規定する簡易吸収分割に該当します。そのため、古河スカイは本吸収分割契約につき会社法第 783 条第 1 項に定める株主総会の決議による承認を受けることなく、本吸収分割を行う予定です。

（注２）住軽テクノの取締役会決議は、住友軽金属の取締役会において決議されることを停止条件としております。

（２）本吸収分割の方式

古河スカイを吸収分割会社、住軽テクノを吸収分割承継会社とする吸収分割を行うことを予定しております。

（３）本吸収分割に係る割当ての内容

住軽テクノは、本吸収分割に際し、古河スカイに対して、その押出事業に関する権利義務に代わり、金 2,088 百万円を交付する予定です。

（４）新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

（５）本吸収分割により増減する資本金等

本吸収分割による資本金等の増減はありません。

（６）吸収分割承継会社が承継する権利義務

住軽テクノは、本吸収分割契約の定めに従い、古河スカイの押出事業に関する資産及び債務、契約その他の権利義務（但し、古河（天津）精密鋁業有限公司の持分、PT. Furukawa Indal Aluminum の株式、軽金属押出開発株式会社の株式、雇用契約その他本吸収分割契約において別段の定めがあるものを除きます。）を、吸収分割会社である古河スカイから承継いたします。なお、住軽テクノが古河スカイから承継する債務については、住軽テクノが重畳的にこれを引き受けます。

（７）債務履行の見込み

古河スカイ及び住軽テクノは、本吸収分割において、吸収分割会社である古河スカイ及び吸収分割承継会社である住軽テクノの債務の履行の見込みに問題はないと判断しております。

３．本吸収分割に係る割当ての内容の算定根拠等

（１）算定の基礎及び経緯

古河スカイは、古河スカイ及び住軽テクノから独立した第三者算定機関であるアーンストアンドヤング・トランザクション・アドバイザリー・サービス株式会社（以下「ＥＹＴＡＳ」という。）を選定し、押出事業の事業価値の算定を依頼しました。

ＥＹＴＡＳは、この依頼を受け、修正簿価純資産法及びディスカウント・キャッシュ・フロー法（ＤＣＦ法）を用いて分析を行い、算定書を提出しました。

古河スカイ及び住軽テクノは、ＥＹＴＡＳによる算定結果を参考として、慎重に検討と協議を行い、押出事業の対価として交付される金銭の額は上記２．（３）記載の額が妥当であるとして、最終的に交付する金額を決定いたしました。

（２）算定機関との関係

古河スカイが押出事業の事業価値の算定を依頼したＥＹＴＡＳは、古河スカイ及び住軽テクノの関連当事者には該当せず、本吸収分割に関して記載すべき重要な利害関係を有していません。

（３）上場廃止となる見込み及びその事由

該当事項はありません。

（４）公正性を担保するための措置

古河スカイは、本吸収分割に際して対価の公正性を担保するため、独立した第三者算定機関であるＥＹＴＡＳに押出事業の事業価値の算定を依頼し、算定書を受領しました。

（５）利益相反を回避するための措置

古河スカイと住軽テクノを兼任する取締役は存在しません。本吸収分割に際し、古河スカイと住軽テクノの間に特段の利益相反関係は生じないことから、特別な措置は講じておりません。なお、住軽テクノは、本吸収合併の効力発生により、統合新会社である株式会社ＵＡＣＪの完全子会社となる予定であります。

４．本吸収分割の当事会社の概要

	吸収分割会社	吸収分割承継会社
（1） 名称	古河スカイ株式会社	株式会社住軽テクノ
（2） 本店所在地	東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号	東京都千代田区岩本町一丁目 11 番 2 号
（3） 代表者役職・氏名	代表取締役社長　岡田　満	代表取締役社長　荘司　啓三
（4） 事業内容	アルミニウム及びアルミニウム合金の圧延製品・鋳物製品・鋳造製品並びに加工品の製造・販売等	アルミ押出素材・部材加工製品の販売
（5） 資本金	16,528 百万円 （平成 25 年 3 月 31 日現在）	490 百万円 （平成 25 年 3 月 31 日現在）
（6） 設立年月日	平成 15 年 10 月 1 日	平成 17 年 4 月 1 日
（7） 発行済株式数	227,100,000 株 （平成 25 年 3 月 31 日現在）	17,800 株 （平成 25 年 3 月 31 日現在）
（8） 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
（9） 従業員数	（単体）1,938 人 （連結）3,851 人 （平成 25 年 3 月 31 日現在）	（単体）77 人 （平成 25 年 3 月 31 日現在）
(10) 主要取引先	丸紅メタル㈱ 東洋製罐㈱ 昭和アルミニウム缶㈱	住友商事㈱ 住金物産㈱ 飯田軽金属㈱
(11) 主要取引銀行	㈱みずほ銀行 農林中央金庫 ㈱三菱東京 UFJ 銀行	㈱三井住友銀行

(12) 大株主及び持株比率	古河電気工業㈱ 53.00% 新日鐵住金㈱ 8.23% 日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口） 2.62% 古河スカイ従業員持株会 2.14% 日本マスタートラスト信託銀行㈱（信託口） 2.03% 日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口９） 1.40% 資産管理サービス信託銀行㈱（年金信託口） 1.22% 丸紅㈱ 1.00% 三井物産㈱ 1.00% 第一生命保険㈱特別勘定年金口 0.84% （平成25年3月31日現在）	住友軽金属工業㈱ 100.00%

(13) 当事会社間の関係

資本関係	特筆すべき資本関係はありません。なお、本吸収合併の効力発生により、住軽テクノは統合新会社である株式会社ＵＡＣＪの完全子会社となる予定です。
人的関係	特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	特筆すべき取引関係はありません。
関連当事者への該当状況	両社にとって相手方当事者は関連当事者に該当しません。なお、本吸収合併の効力発生により、住軽テクノは統合新会社である株式会社ＵＡＣＪの完全子会社となり、関連当事者になる予定です。

(14) 最近３年間の経営成績及び財政状態

決算期	古河スカイ㈱（連結）			㈱住軽テクノ（単体）		
	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
純資産	69,907	71,179	77,299	872	884	1,602
総資産	217,878	212,998	217,782	11,474	11,572	12,314
１株当たり純資産（円）	305.44	310.82	336.80	48,976	49,676	89,991
売上高	207,223	193,972	183,702	31,237	28,566	27,236
営業利益	12,338	6,360	5,339	304	188	229
経常利益	11,680	6,411	5,819	169	37	754
当期純利益	11,968	3,540	3,146	162	12	718
１株当たり当期純利益(円)	52.70	15.59	13.85	9,122	700	40,315
１株当たり配当金(円)	6.00	6.00	6.00	－	－	36,600

（単位：百万円。特記しているものを除く。）

（注） 住軽テクノは、平成25年8月1日付で住友軽金属を割当先として増資を実施することを予定しており、当該増資により住軽テクノの資本金は1,640百万円となる予定です。

５．分割又は承継する事業の概要

（１）分割又は承継する事業の内容

本吸収分割において、古河スカイが分割する事業は、アルミニウム押出製品の製造・販売事業となります。

（２）分割又は承継する事業の経営成績（平成 25 年 3 月期）

分割する事業の売上高（a）	吸収分割会社の売上高（b）	比率（a/b）
18,884 百万円	183,702 百万円	10.3%

（３）分割又は承継する資産及び負債の項目並びに帳簿価格（平成 25 年 6 月末時点）

資産		負債	
項目	帳簿価格	項目	帳簿価格
流動資産	－	流動負債	－
固定資産	100 百万円	固定負債	－
合計	100 百万円	合計	－

（注） 分割する資産及び負債の帳簿価格については、上記金額に本吸収分割の効力発生日までの増減を加味した上で確定いたします。なお、上記の資産及び負債の帳簿価格は平成 25 年 6 月末日現在のものであり、上記の資産及び負債には、平成 25 年 7 月 19 日に設立された古河スカイ小山押出株式会社の株式は含まれておりません。

６．本吸収分割後の状況

（１）吸収分割会社の概要

本吸収分割と同時に効力を生じる本吸収合併による古河スカイと住友軽金属との経営統合に伴い、平成 25 年 10 月 1 日付で吸収分割会社の概要は、以下の通りとなる予定です。

	吸収分割会社
（1） 名称	株式会社ＵＡＣＪ
（2） 本店所在地	東京都千代田区大手町一丁目７番２号
（3） 代表者役職・氏名	代表取締役会長　山内　重徳 代表取締役社長　岡田　満 ※共同 CEO 体制を採用いたします。
（4） 事業内容	アルミニウム・銅等の非鉄金属及びその合金の圧延製品・鋳物製品・鍛造製品並びに加工品の製造・販売等
（5） 資本金	45,000 百万円
（6） 決算期	3 月 31 日
（7） 純資産	現時点では確定しておりません。
（8） 総資産	現時点では確定しておりません。

（２）吸収分割承継会社の概要

本吸収分割と同時に効力を生じる本吸収合併による古河スカイと住友軽金属との経営統合に伴い、平成 25 年 10 月 1 日付で吸収分割承継会社の概要は、以下の通りとなる予定です。

	吸収分割承継会社
（1） 名称	株式会社ＵＡＣＪ押出加工
（2） 本店所在地	東京都中央区日本橋兜町６番５号（ＫＤＸ日本橋兜町ビル）
（3） 代表者役職・氏名	代表取締役社長　荘司　啓三
（4） 事業内容	アルミ押出素材・部材加工製品の販売
（5） 資本金	1,640 百万円
（6） 決算期	3 月 31 日

７．会計処理の概要

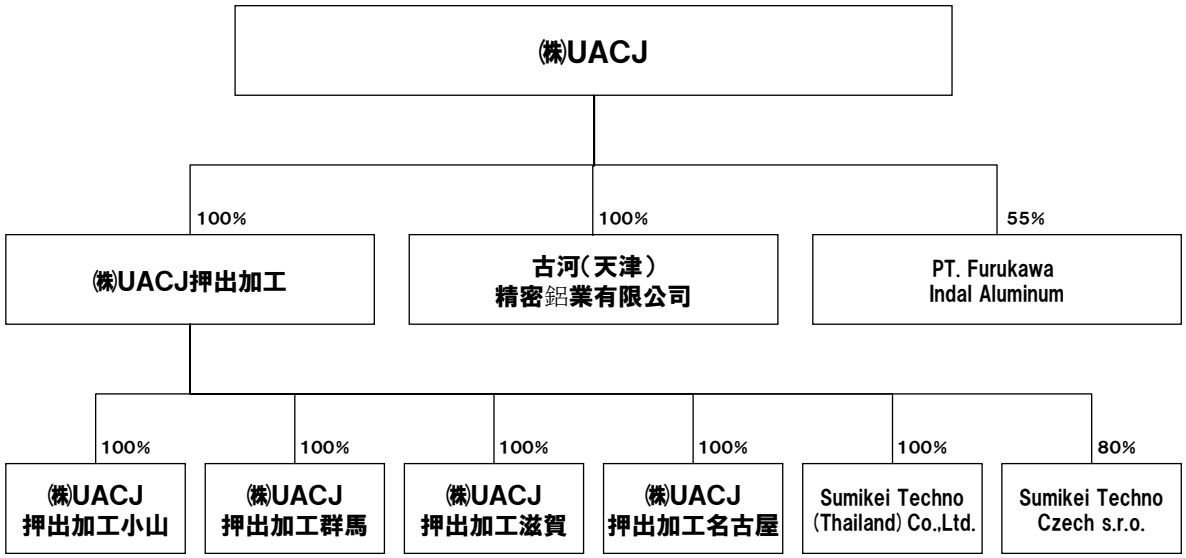
本吸収分割は、会計処理上、共通支配下の取引として処理する予定です。

これは、住軽テクノの親会社である住友軽金属が、古河スカイとの間で、本吸収分割と効力発生日を同じくする本吸収合併により経営統合を行うことによって、住軽テクノが統合新会社である株式会社ＵＡＣＪの完全子会社となるためです。

８．今後の見通し

本吸収分割により押出事業を承継する住軽テクノ（平成 25 年 10 月 1 日付で商号を「株式会社ＵＡＣＪ押出加工」に変更予定）は、古河スカイと住友軽金属の合併により発足する株式会社ＵＡＣＪの完全子会社となるため、株式会社ＵＡＣＪの連結の業績に影響はありません。

（参考）平成 25 年 10 月 1 日時点でのＵＡＣＪグループの押出事業の構成



以　上